

第3学年 シラバス（保健体育）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	保健体育	科目	体育	学年	3	類型	共通
単位数	2	教科書	現代高等保健体育	出版社	大修館書店		
副教材	ステップアップ高校スポーツ2022						

学習の到達目標

<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・体力の強化を図るとともに積極的に授業に取り組む姿勢を養います。 ・集団の中の個人であること（意識の統一・やる気の共有）を自覚した行動をとると同時に、体力の向上を図ります。 ・アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、各種の運動を実践することで、自主的かつ安全に配慮する力を身に付けると同時に、運動の知識を深めます。
--

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価の対象	技能テスト・授業ノート 授業時の観察など	グループ活動・授業ノート 授業時の観察など	学習への参加状況・振り返りシート ルーブリック・授業時の観察など
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、 「おおむね満足できる」：B、 「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学 期	集団行動 体づくり運動 ・集団走 ・体づくり運動 ・ラジオ体操	・集団行動の行い方を学び、効率的に行動することができる。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。	1 学期 期末考査
	球技 ・ベースボール型 （ソフトボール） ・ネット型 （バレーボール、 テニス）	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 豊かなスポーツライフ の設計 ・生涯スポーツの見 方・考え方 ・ライフスタイルに応 じたスポーツ	・運動・スポーツにおける技能と体力の関係について考察する。 ・技術と技能について考察する。	
2 学 期	体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動 ・新体力テスト	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。 ・自己の体力・運動能力の状態を把握することができる。	2 学期 期末考査
	球技 ・ゴール型 （バスケットボール、 サッカー） ・ネット型 （バドミントン）	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 豊かなスポーツライフ の設計 ・スポーツを推進する 取組 ・豊かなスポーツライ フの創造	・技能の上達課程と効果的な練習法について考察する。 ・動きのコントロールについて考察する。	
3 学 期	球技 ・ゴール型 （バスケットボール、 サッカー） ・ネット型 （バドミントン）	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	